

事業所職員向け 児童発達支援自己評価

		チェック項目	はい	いいえ	意見
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7 100 %		
	②	職員の配置数は適切であるか	6 86 %	1 14 %	1:1 対応児がおり、より多くの支援員が配置されている 多く配置されている分マンツーマン必要時の対応や他部署への応援、間接業務にあたることができている 他部署からのフォローが入ることもある
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7 100 %		TEACH を部分的に導入している コミュニケーションカードやマカトンサイン等を導入している 設計上不都合などところはあるが、工夫しながら環境を改善している
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7 100 %		日々の清掃等徹底している 活動に合わせ体育館を使用している
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7 100 %		法人研修があり、全員参加している
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7 100 %		毎年事業所独自の満足度調査を行い、保護者のニーズを把握し活かしている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7 100 %		ホームページの内容が古いところもあるため、毎年更新した方がよい
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7 100 %		
	⑨	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7 100 %		施設内研修、外部研修等で受講している
適切な援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7 100 %		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7 100 %		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択されその上で具体的な支援内容が設定されているか	7 100 %		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7 100 %		

		チェック項目		はい	いいえ	意 見
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7 100 %			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7 100 %			
	⑯	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6 86 %	1 14 %		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7 100 %			
適切な支援の提供	⑱	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	4 57 %	3 43 %		全員で話せない際も【通信】として記録をしている なるべく話すようにしているが、毎日行っていない
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげているか	7 100 %			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7 100 %			年3回のモニタリングを実施、見直しをして立案している
関係機関や保護者との連携	㉑	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5 72 %	2 28 %		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6 86 %	1 14 %		健康センター、子ども家庭支援センター、障害者福祉センター、市支援課等連携している
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				非該当
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				非該当
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5 72 %	2 28 %		幼稚園との連携実施 訪問相談を行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5 72 %	2 28 %		特別支援学校との連携実施
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4 57 %	3 43 %		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2 28 %	5 72 %		

		チェック項目	はい	いいえ	意 見
	②9	(自立支援)協議会や子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7 100 %		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7 100 %		サービス提供書にてやりとりしている
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5 72 %	2 28 %	職員が研修等を受講している
保護者への説明責任等	③2	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7 100 %		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7 100 %		
	③4	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	7 100 %		日々のサービス提供書、交換ノート、電話相談、定期的な面談等で実施 必要に応じて面談も行っている
	③5	父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			父母の会はないが保護者懇談会を開催、実施している
保護者への説明責任等	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6 86 %	1 14 %	
	③7	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7 100 %		
	③8	個人情報に十分注意しているか	7 100 %		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7 100 %		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7 100 %		年4回のお祭、毎月の子ども食堂、学習場所や遊び場等施設開放を日々行っている
非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7 100 %		
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7 100 %		
	④3	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7 100 %		入園時アセスメントで把握 非常時の薬の預かりと定期交換を実施
	④4	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	7 100 %		

		チェック項目	はい	いいえ	意見
非常時の対応	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7 100 %		法人で作成、共有している
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7 100 %		
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7 100 %		